

企画展 池田家文庫絵図展

日本と「異国」

2008年

11月1日(土) → 16日(日)

休館日：11月4日(火)、10日(月)



岡山市デジタルミュージアム

OKAYAMA
DIGITAL MUSEUM

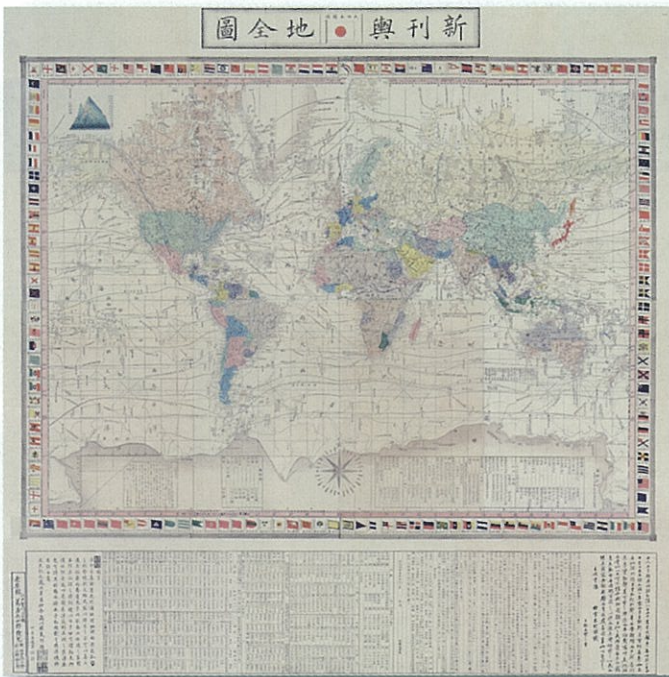
開館時間：10時～18時（入館は17時30分まで）

入場料： 無料

主催： 岡山大学附属図書館、岡山市デジタルミュージアム

後援： 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

新刊輿地全図 文久元年(1861)



案内図



岡山市デジタルミュージアム
岡山市駅元町15-1 リットシティビル

岡山駅より東西連絡通路直結



日本輿地路程全図 安永8年(1779)

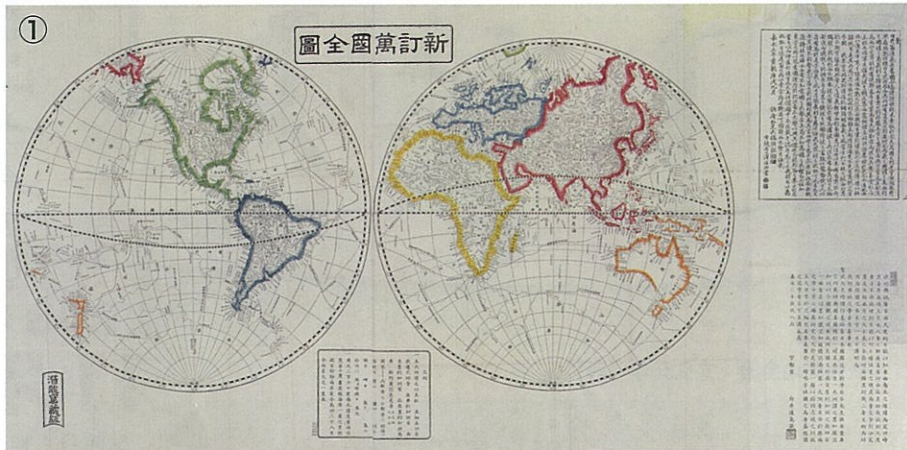


※ 絵図展の内容・記念講演会のご案内は裏面をご覧ください。
※ 池田家文庫は、岡山大学附属図書館が所蔵する資料です。

日本と「異国」

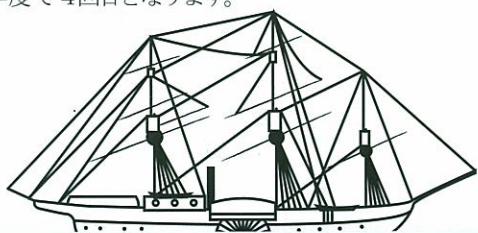
徳川幕府の鎖国政策のために、江戸時代の人々が知ることのできる海外の情報は非常に少なく、自国の地図も正確なものを眼にする機会は限られていました。近世の人々はどのように「異国」のことを見ていたのでしょうか。

今回の展覧会では、絵図約 2400 点を含む、池田家文庫の歴史資料の中から、「地球全図」(1792)「新刊輿地全図」(1861)といった絵図類に加え、朝鮮通信使の接待に関する岡山藩の記録や、漂流して帰国した人々の記録など、当時の「異国」事情をご紹介します。



- ① 新訂万国全図 嘉永3年(1850)
- ② 日本国絵図 江戸時代前期
- ③ 日本図 享保6年(1721)
- ④ 邑久郡牛窓町筋絵図 正徳元年(1711)
- ⑤ 朝鮮地図 江戸時代中期

* 岡山市と岡山大学は平成17年度に文化事業協力協定を交わし、互いに連携して、池田家文庫絵図を核とする貴重資料のデジタル化や学校教育、社会教育の場で活用を図っています。そうした取り組みの一環として平成17年度から池田家文庫中の歴史資料の実物を多くの人に見ていただくために協働して「池田家文庫絵図展」を開催しており、今年度で4回目となります。



記念講演会

『「鎖国」の中の日本と朝鮮』

日時：2008年11月1日(土) 14時～16時
 場所：岡山市デジタルミュージアム 4階講義室
 講師：名古屋大学文学部 教授 池内敏 先生
 備考：聴講無料、先着80名まで、予約不要

文政2年(1819)に朝鮮半島西部に一艘の薩摩船が漂着しました。この一行25人のなかに薩摩藩の武士3人が含まれており、彼らは朝鮮人官僚と多くの筆談をし、詩文贈答をします。この時の漂流の記録には多くの挿絵があり、当時の朝鮮風俗をうかがえるものも少なくありません。「鎖国」の時代の知られざる日朝文化交流のひとつです。しかし、異文化交流は常に相互理解をとまとうとは限りません。この事件を主な素材に、当時の人々の誤解と理解のさまざまな姿を、そして「鎖国」の中の日本と朝鮮についてお話しいただきます。



岡山大学附属図書館

〒700-8530 岡山市津島中3-1-1 TEL: 086-251-7322
<http://www.lib.okayama-u.ac.jp/ikedai/>



岡山市デジタルミュージアム

〒700-0024 岡山市駅元町15-1 TEL: 086-898-3000
<http://www.okayama-digital-museum.jp/>